



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月27日

上場取引所 東 名

上場会社名 パナソニック デバイスSUNX株式会社
 コード番号 6860 URL <http://panasonic.net/id/pidsx/>

代表者 (役職名) 取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営管理担当
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月10日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(氏名) 荒谷 悦司
 (氏名) 宮下 英二
 配当支払開始予定日

TEL 0568-33-7211
 平成26年11月28日

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	21,808	4.9	2,502	26.9	2,658	30.4	1,783	28.1
26年3月期第2四半期	20,780	7.2	1,971	13.4	2,038	22.6	1,392	28.4

(注)包括利益 27年3月期第2四半期 2,129百万円 (34.0%) 26年3月期第2四半期 1,589百万円 (66.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	31.69	—
26年3月期第2四半期	24.74	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	40,677	31,974	78.1	564.50
26年3月期	37,974	30,264	79.2	534.40

(参考)自己資本 27年3月期第2四半期 31,766百万円 26年3月期 30,072百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	5.00	—	7.00	12.00
27年3月期	—	6.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,000	6.2	3,800	10.1	3,800	5.5	2,400	2.6	42.64

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	56,457,898 株	26年3月期	56,457,898 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	183,384 株	26年3月期	183,336 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	56,274,521 株	26年3月期2Q	56,274,677 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国においては消費や雇用が拡大し回復基調となりましたが、欧州においては緩やかな景気回復基調に転じているものの、下振れ懸念は払拭されない状況の中で推移いたしました。また、中国をはじめとする新興国においては、景気は減速気味に推移し、世界経済全体としてはまだら模様の様相を呈しました。一方、わが国経済は、消費税増税に伴う影響に加え、円安による原材料・原油価格の上昇などによる消費低下の影響を受けておりますが、政府による経済政策等の効果もあり、総じてゆるやかな回復基調の中で推移いたしました。

このような状況下、当社グループは、国内においては、自動車関連及び電機・電子関連向けが堅調に推移し国内売上高は12,320百万円（前年同期比2.6%増）となりました。海外は、中国においてスマートフォン製造設備関連向けの販売が拡大するとともに、工場自動化の需要高まりを受け好調に推移いたしました。その結果、海外売上高は9,488百万円（同8.2%増）となり第2四半期累計ベースで過去最高の実績となりました。

以上の結果、売上高は21,808百万円（同4.9%増）、営業利益は2,502百万円（同26.9%増）、経常利益は2,658百万円（同30.4%増）、四半期純利益は1,783百万円（同28.1%増）となり、売上高、利益とも第2四半期累計ベースで過去最高の実績となりました。

セグメント別の状況

・センシングコントロール事業（FA用センサ、PLC、プログラマブル表示器等）

国内においては、自動車製造設備関連向けに売上高が増加いたしました。海外においては、中国でのスマートフォン製造設備関連向けに売上高が増加いたしました。その結果、センシングコントロール事業の売上高は13,732百万円（同10.4%増）、セグメント利益は2,859百万円（同31.9%増）となり、売上高、利益とも第2四半期累計ベースで過去最高の実績となりました。

・プロセッシング機器事業（レーザマーカ、画像処理機、紫外線硬化装置等）

国内においては、レーザマーカが自動車部品及び電機・電子部品関連向けに売上高が増加いたしました。海外においては、中国でのレーザマーカ及び画像処理機がスマートフォン製造設備関連向けに増加いたしました。その結果、プロセッシング機器事業の売上高は4,778百万円（同12.4%増）、セグメント利益は428百万円（同26.4%増）となり、売上高、利益とも第2四半期累計ベースで過去最高の実績となりました。

・Eco・カスタム事業（エコ関連商品、カスタム部品、カスタム商品等）

エコ関連商品においては、エネルギー管理システム導入に伴う補助金制度の終了が影響し、売上高が減少いたしました。また、カスタム商品においても大口件名の売上高が減少いたしました。その結果、Eco・カスタム事業の売上高は3,297百万円（同19.3%減）となりました。なお、セグメント利益は費用低減等を実施しましたが、売上高減少の影響が大きく103百万円（同68.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は40,677百万円となり前連結会計年度末に比べ2,703百万円の増加となりました。この主な要因は下記のとおりであります。

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は前連結会計年度末に比べ2,314百万円増加し、29,385百万円となりました。主な内容は現金及び預金が1,048百万円、たな卸資産が1,035百万円増加したことによるものです。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は前連結会計年度末に比べ390百万円増加し、11,292百万円となりました。主な内容は有形固定資産が195百万円、無形固定資産が274百万円増加したことによるものです。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は前連結会計年度末に比べ1,178百万円増加し、6,842百万円となりました。主な内容は買掛金が500百万円、未払金が289百万円増加したことによるものです。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は前連結会計年度末に比べ184百万円減少し、1,861百万円となりました。主な内容は退職給付に係る負債が184百万円減少したことによるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は前連結会計年度末に比べ1,710百万円増加し、31,974百万円となりました。主な内容は四半期純利益1,783百万円による増加と、配当金の支払393百万円の減少等によるものです。

当第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、以下に記載のキャッシュ・フローにより11,493百万円となり、前連結会計年度末に比べ959百万円増加いたしました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益2,654百万円、仕入債務の増加による資金の増加457百万円を計上する一方、たな卸資産の増加による資金の減少914百万円等がありました。この結果、営業活動によるキャッシュ・フローは1,961百万円となり前年同四半期に比べ162百万円収入が減少いたしました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出417百万円及び無形固定資産取得による支出408百万円等により818百万円の支出となり前年同四半期に比べ623百万円支出が減少いたしました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額405百万円等により405百万円の支出となり、前年同四半期に比べ428百万円支出が減少いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年4月24日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,184	6,232
受取手形及び売掛金	4,182	4,218
商品及び製品	1,835	2,462
仕掛品	568	554
原材料及び貯蔵品	2,516	2,937
預け金	11,349	11,260
その他	1,446	1,727
貸倒引当金	△11	△9
流動資産合計	27,071	29,385
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,828	3,828
その他(純額)	5,643	5,838
有形固定資産合計	9,472	9,667
無形固定資産	585	859
投資その他の資産	845	766
固定資産合計	10,902	11,292
資産合計	37,974	40,677
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,741	3,241
未払金	1,014	1,303
未払費用	539	587
未払法人税等	488	642
賞与引当金	807	981
その他	73	85
流動負債合計	5,664	6,842
固定負債		
退職給付に係る負債	1,998	1,814
その他	47	47
固定負債合計	2,045	1,861
負債合計	7,710	8,703

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,155	3,155
資本剰余金	10,534	10,534
利益剰余金	15,954	17,333
自己株式	△64	△64
株主資本合計	29,580	30,959
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	44	44
為替換算調整勘定	646	949
退職給付に係る調整累計額	△198	△187
その他の包括利益累計額合計	492	807
少数株主持分	191	207
純資産合計	30,264	31,974
負債純資産合計	37,974	40,677

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	20,780	21,808
売上原価	14,621	15,011
売上総利益	6,158	6,796
販売費及び一般管理費	4,186	4,293
営業利益	1,971	2,502
営業外収益		
受取利息	18	40
受取配当金	1	1
受取地代家賃	16	18
為替差益	33	94
その他	6	5
営業外収益合計	77	159
営業外費用		
支払利息	5	—
不動産賃貸費用	3	2
その他	3	1
営業外費用合計	11	3
経常利益	2,038	2,658
特別利益		
固定資産売却益	4	1
特別利益合計	4	1
特別損失		
固定資産除却損	10	5
特別損失合計	10	5
税金等調整前四半期純利益	2,032	2,654
法人税、住民税及び事業税	662	835
法人税等調整額	△40	19
法人税等合計	622	854
少数株主損益調整前四半期純利益	1,409	1,800
少数株主利益	17	17
四半期純利益	1,392	1,783
少数株主利益	17	17
少数株主損益調整前四半期純利益	1,409	1,800
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2	0
為替換算調整勘定	177	317
退職給付に係る調整額	—	11
その他の包括利益合計	179	329
四半期包括利益	1,589	2,129
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,564	2,097
少数株主に係る四半期包括利益	24	31

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,032	2,654
減価償却費	603	631
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△126	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	—	△166
賞与引当金の増減額 (△は減少)	202	171
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	△2
受取利息及び受取配当金	△20	△42
為替差損益 (△は益)	△9	△44
支払利息	5	—
有形固定資産除売却損益 (△は益)	6	3
売上債権の増減額 (△は増加)	165	16
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△128	△914
仕入債務の増減額 (△は減少)	239	457
未払金の増減額 (△は減少)	△57	83
その他	△40	△236
小計	2,871	2,612
利息及び配当金の受取額	20	42
利息の支払額	△5	—
法人税等の支払額	△762	△693
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,123	1,961
投資活動によるキャッシュ・フロー		
預け金の預入による支出	△6,000	△6,000
預け金の払戻による収入	5,000	6,000
有形固定資産の取得による支出	△309	△417
有形固定資産の売却による収入	25	7
無形固定資産の取得による支出	△156	△408
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,441	△818
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△531	—
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△281	△393
少数株主への配当金の支払額	△20	△12
財務活動によるキャッシュ・フロー	△833	△405
現金及び現金同等物に係る換算差額	117	222
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△32	959
現金及び現金同等物の期首残高	9,413	10,533
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,381	11,493

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	センシング コントロール	プロセッシング 機器	E c o・ カスタム	合計
売上高				
外部顧客への売上高	12,442	4,250	4,087	20,780
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	12,442	4,250	4,087	20,780
セグメント利益	2,168	338	331	2,838

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,838
全社費用(注1)	△845
調整額(注2)	△20
四半期連結損益計算書の営業利益	1,971

(注1) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注2) 調整額は、主に報告セグメントが負担する一般管理費の配賦差異であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間（自平成26年4月1日 至平成26年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	センシング コントロール	プロセッシング 機器	E c o・ カスタム	合計
売上高				
外部顧客への売上高	13,732	4,778	3,297	21,808
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	13,732	4,778	3,297	21,808
セグメント利益	2,859	428	103	3,391

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,391
全社費用（注1）	△889
調整額（注2）	1
四半期連結損益計算書の営業利益	2,502

（注1）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

（注2）調整額は、主に報告セグメントが負担する一般管理費の配賦差異であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。